

人間中心の工業デザインを知ろう

日時：令和4年8月3日（水）13：30～16：00

場所：千葉大学工学部2号棟103教室

参加者：12名

講師：千葉大学工学院工学研究院 下村義弘先生



【受講生の感想】

- なんとなく人間が使いやすいように新しくデザインされたものがあることは知っていたが、お菓子のパッケージにも使われているのは身近すぎてびっくりした。使いやすさを調べるために電極を使ってみて、体から出る電気を調べていたんだと分かってよかった。日常生活でもデザインされているところを見つけていきたい。
- 筋肉や指への負担などの生活での疲れの原因が数値としてはっきり出ていることにおどろいた。力が少なくてもすむ設計がどういう形なのかが分かりやすかった。また、美術だけがデザインではないということも知らなかったため、たくさんを知ることができた。
- 工業デザインとはなんだろう、と思ってこの講座に参加しました。今まで自分が思っていた「デザイン」と、今回知った「デザイン」が全然違って、おどろきました。
- 私はプロダクトデザイナーやロボットデザイナーになりたいと思っていたためこの講座を受講したのですが、元から使いやすく、見た目のよい物を作りたいと思ってはいましたが、その「使いやすさ」を手の形や筋力の働きなどから詳しく、数値に表せる形で分かり、うれしかったです。
- デザインとはそもそも何なのか、ということについて具体例も混じえて説明して下さったのがとても興味深かった。さらに、今回のテーマは「人間中心の工業デザイン」ということで、人体の解剖学にも視点を向ける必要があったのには驚いた。
- どんな人でも不便なく使える物かデザインに対する意識が変わりました。世の中にもっとこういうデザインの物が出てきてほしいです。